

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

「地域の皆様、いつもありがとうございます」

日頃から町民の皆様方には、教育行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。本年度も、多くの地域の皆様方に、温かいご支援・ご協力をいただきながら、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるように、学校と家庭・地域の連携を強めていきながら、健全育成を図ってまいりました。

学期中は、暑い日も寒い日も各地域で、子どもたちの登下校に合わせて実施している、防犯・安全活動につきまして、「子ども安全パトロール員」の方々の積極的な、見守りや声かけにより、子どもたちの安全確保に向けた、ご支援・ご協力をいただいております。

3年目を迎えました「さとしょう未来塾」では、地域の方々をはじめ、老人クラブなどの各種団体、町内企業の方々に講師やボランティアとして参加していただき、子どもたちの支援をしていただいております。子どもたちは自学自習やものづくり、様々な体験活動を通じて、地域の方々との連携や、地元地域の良さの理解を深めることができましたと考えております。

昨年10月27日（土）の「里庄町教育を考えるつどい」では、岡山教育事務所、竹本悟修所長を講師にお招きして、「地域とともにある学校」と題して、地域・学校が一体となって子どもたちと関わっていく大切さについて、専門的な視野から貴重なお話をいただきました。

また昨年11月10日（土）の「一日学校公開」では、学校（園）PTAの皆様には、ご来場いただいた地域の方々に対して、手作りのおもてなしなどをしていただき、ありがたく思っております。地域の方々に、普段の子どもたちの様子を見学していただき、学校（園）への理解を深めていただけたと考えております。

これからも、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、地域の皆様のご支援・ご協力をいただき、学校・家庭・地域との連携を深めていきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。（事務局長 小寺 大輔）

里庄町「明るい学校づくり」の取り組み

本町では、今年度、小中学校を中心に「明るい学校づくり」の取り組みを進めています。この取り組みは、子どもたちに、「相手の気持ちを考えて行動する力」と、「自分から積極的に友だちと関わろうとする力」を付けることを目標にしています。この2つの力を付けるために、それぞれの学校で取り組みを考え、実践しています。例えば、気持ちの良い接し方や声かけの

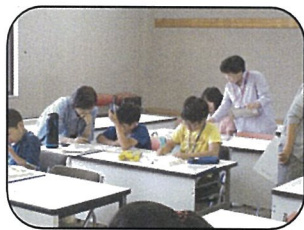


仕方、いやな気持ちにさせない対応の仕方等を身に付けることで、子どもの社会的スキルが高まっていきます。こうすることで子どもの望ましい行動が増え、お互いに認め合う良好な関係がつくられます。来年度は、保育園・幼稚園にも輪を広げ、子どもたちの笑顔あふれる学校、園を目指して取り組みを続けていきます。（文責：天野 正彦）

「さとしょう未来塾」について

里庄町の子どもたちの健やかな成長を里庄町の大人が応援するのが、「さとしょう未来塾」です。3年目になる未来塾ですが、本年度も多くの方々にお世話になり、自学自習「**里ちゃん寺子屋**」と体験活動「**里ちゃんチャレンジ・ワールド**」の事業を実施することができ、たくさんの子どもたちが参加しました。

(文責：教育コーディネーター 武政 寛治)



里ちゃん寺子屋



囲碁教室



絵手紙教室



ロゲイニング

平成31年成人式 ～感謝の気持ちを新たに～



成人式の様子

里庄町では、これからの里庄町を担う新成人が晴れて成人の日を迎えられたことを祝い、また、成人としての責任や義務を自覚する機会となるよう、毎年成人式を開催しています。今年は、1月13日（日）に実施し、89名の新成人が参加しました。

式典では、新成人代表者が「平成最後の成人式出席者の責務として、大人として歩む一歩一歩を、全力で踏み出して参ります。」と支えてくれた方々への感謝を込めて述べました。

式典終了後に行われた交歓会では、旧友との再会に加え、小・中学生当時の先生方をお招きし、これまでのことや、これからのことなど、かつての関係性そのままに、話に花を咲かせていました。新成人の皆様のご健勝と、一層のご活躍をお祈り申し上げます。



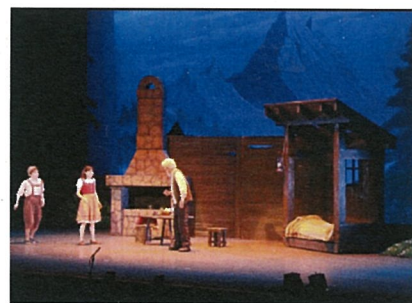
交歓会の様子

(文責：山下 直人)

夏休み子ども劇場 「アルプスの少女ハイジ」

夏休み期間中の8月21日（火）に、里庄総合文化ホール「フロイデ」自主事業として、大ホールでミュージカルの上演を行いました。演目は「アルプスの少女ハイジ」で、愛と友情の大切さ、生きていることの喜びを思い出させてくれるミュージカルです。里庄町や、周辺の市町村にお住まいの子どもたちに、夏休みの良い思い出をつくってもらうとともに、親子のふれあいや、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的に実施し、当日は、町内外から753名の方にお越しいただきました。逆境にもめげず、どんな環境におかれても素直に、そして純真で明るく行動するハイジの生き方は、子どもたちはもちろん、保護者の方々にも感動していただけるものとなりました。

(文責：山下 直人)



公演中の様子

～スマートフォン・ゲームの適切な利用について～

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

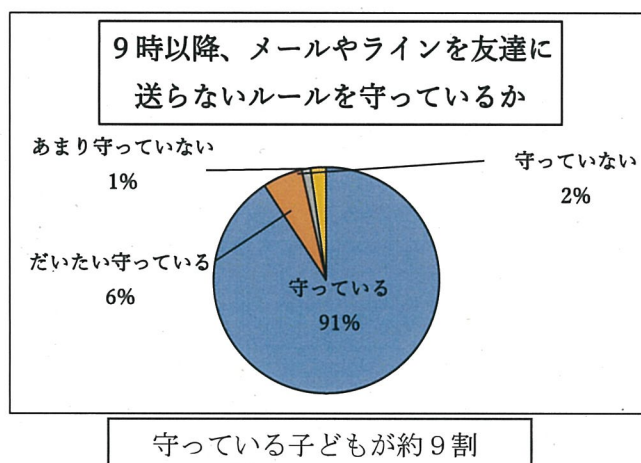
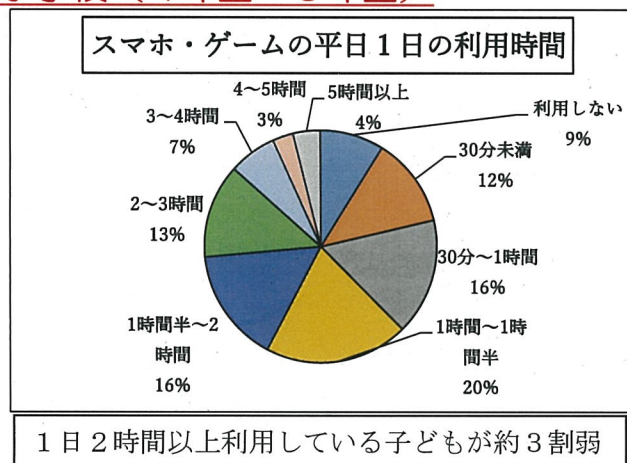
里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。特に進級や進学する時に、スマートフォンやゲームを持ち始めることも多いと聞いています。子どもたちが、安全で、安心して毎日の暮らしができますように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（教育長 杉本 秀樹）

里庄町の子どもの様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

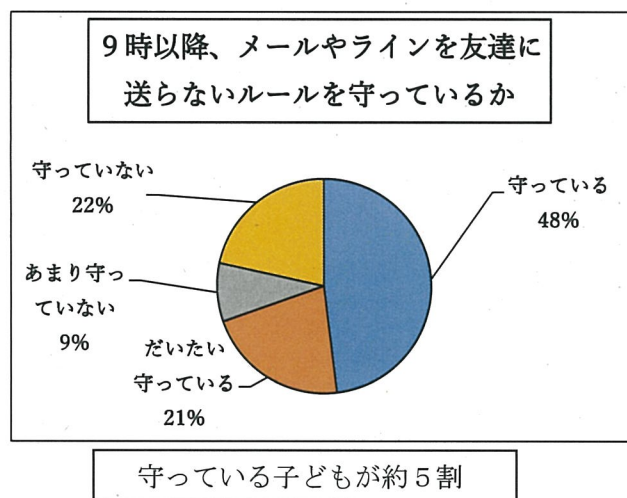
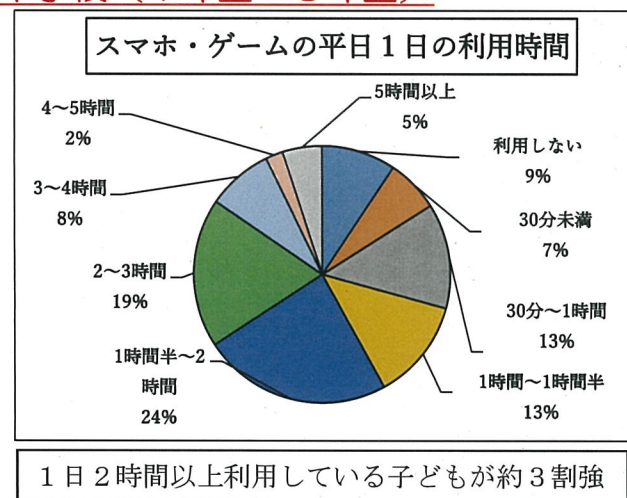
里庄町教育委員会では、平成30年度に2回、町内小学校4年生から中学校3年生までの児童、生徒にスマートフォン・ゲームの使い方について実態調査を行いました。平成31年2月の結果の中から、2つを紹介します。

子どもを守るのは、社会の大人全体の責任です。子どもの一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組みましょう。特に中学生になると、9時以降のルールが守りにくくなる傾向があるようです。**ご家庭で、お子様としっかり話し合って、子どもも納得するルール作りを進めてください。**（文責：天野 正彦）

小学校（4年生～6年生）



中学校（1年生～3年生）



～快適で豊かな学校施設を目指して～

学校等施設は未来を担う子どもたちが集い、一日の大半を過ごす学び・生活の場です。また、地域住民にとっては生涯にわたる学習や文化・スポーツなどの活動の場となり、有事の際には避難生活のよりどころとしての重要な役割も果たします。

施設を長期にわたり活用していくために、教育委員会では学校等施設における今後の整備内容や時期、費用等を具体的に表した中長期的な計画、また限られた財源や人員の中でトータルコストの縮減や、予算等の平準化を図りつつ、学校等の施設に求められる機能や性能を確保するため、本年度、公立幼稚園・小学校・中学校施設における個別施設計画を策定しました。

この計画に基づき、学校等の室内外における機能・性能・質的環境の向上を図る総合的かつ機能的な施設環境を整えていきます。

今後も引き続き、子どもたちが、生き生きと落ち着いて過ごすことのできる、快適で居心地のよい教育環境づくりを進めていきます。

(文責：淡路 尚久)



里庄東小学校空調整備



里庄西小学校空調整備



里庄中学校空調整備

第38回里庄町体力づくりふれあいマラソン大会



元気にスタート

里庄町体力づくりふれあいマラソン大会は、町民の方々の健康づくりを推進するとともに、町民同士の親睦や、親子の絆を深め、里庄町が健康で明るいまちとなることを目指して、毎年2月に開催しています。第38回目となる今大会は、平成31年2月17日（日）に実施し、小学生の部から一般の部までのマラソン7部門と、ジョギングの部に分かれ、455人のランナーが、ふるさと里庄の風を感じながらそれぞれ自分のペースでベストを尽くしました。

当日は晴天で暖かく、選手以外にも多くの方々に来ていただくことができました。一生懸命ゴールへ向かうランナーや、それを大きな声で応援する家族や友人の姿は、見る人に感動を与え、体だけでなく心も健康にすることができる大会となりました。

「第38回里庄町体力づくりふれあい健康マラソン大会」を支えてくださったスタッフ及びボランティアの方々、並びに町民の皆様方に心よりお礼を申し上げますとともに、今後も引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

(文責：山下 直人)



入賞者のみなさん